

デンカグループ CSR報告書 2016 サイトレポート

CONTENTS

- 2 青海工場
- 4 大牟田工場
- 6 千葉工場
- 8 渋川工場
- 10 大船工場
- 12 伊勢崎工場
- 14 デンカイノベーションセンター
- 16 メルバウ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)
- 17 セラヤ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)
- 18 トアス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)
- 19 サウス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)
- 20 デンカアドバンスマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド
- 21 デンカインフラストラクチャー マレーシア スンディリアンブルハド
- 22 電化精細材料(蘇州)有限公司
- 23 電化新材料開発(蘇州)有限公司
- 24 電化無機材料(天津)有限公司
- 25 電化電子材料(大連)有限公司
- 26 デンカパフォーマンスエラストマー エルエルシー
- 27 アイコンジェネティクス ゲーエムベアー
- 28 デンカポリマー株式会社
- 29 デンカ生研株式会社
- 30 シー・アール・ケイ株式会社
- 31 日之出化学工業株式会社
- 32 デンカアツミン株式会社
- 33 環境パフォーマンス

■ 青海工場



事業所概要

工場概要 1921年の設立以来、石灰石の可採埋蔵量50億トンの黒姫山、18万kWの自家発電設備などの豊富な自社資産を活かし、独特のカーバイド化学を推進しています。石灰窒素、クロロプレンゴム、セメントなど幅広い製品を生産するとともに、近年では無機ファインケミカル、医薬品への展開も図り、多彩な化学領域への挑戦を続けています。

主要製品

- エラストマー・機能樹脂部門／クロロプレン、ポパールほか
- インフラ・ソーシャルソリューション部門／セメント、特殊混和材、カーバイド、石灰窒素、アルセンほか
- 電子・先端プロダクツ部門／モノシランガス
- 生活・環境プロダクツ部門／ヒアルロン酸製剤
- その他／養鰻

所在地 新潟県糸魚川市大字青海2209 Tel.025-562-6105

従業員数 851名(2016年3月31日現在)



専務執行役員 青海工場長
狩野 利春

トップメッセージ

青海工場はデンカの本拠工場として、種々の資源から社会に必要な商品を製造しています。その工程では危険物、有害物質を高温の環境下で取り扱うこともあります。危険な物を安全に取り扱うこと、有害物質を工場から絶対に外へ出さないことが、我々化学会社の使命であり、生産活動を継続して行く上で不可欠な事項と考えています。

そして企業としての社会貢献の観点からは、何と云っても税金を多く支払うこと、雇用を確保することが重要であると考えています。そのためには当然利益を上げることが必要で、仕事をつくることも大事です。地方創生が叫ばれる中、新たな仕事づくりは雇用確保の絶対条件であることは間違いありません。地域との対話を重視し、持続可能な利益を確保して、信頼される工場を目指していきます。

CSR方針

■ 工場長方針

① 安全・衛生について

- 安全及び衛生は全てに最優先
- 無事故・無災害
- 管理者による最悪ケースの想定と危険予知
- 作業員自身による安全行動責任の自覚

② 環境・保安について

- 環境・保安基準の遵守
- 近隣の安全確保
- セキュリティー強化
- 危険物、高温職場の可燃物の徹底除去

③ これからの100年に向けて

- 生産性向上
- 在庫圧縮
- 販売に応じた最適生産体制の追求

④ 生産技術について

- 自家発電設備の基本的改善課題の解消
- 火力発電設備フル負荷運転
- 低コストプロセスの実現
- 故障トラブルの削減

⑤ 研究開発について

- 研究品の速やかな上市
- 顧客要望の把握
- 利益重視の研究の実施
- テクニカルサービスの充実

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

姫川港総合防災訓練



大規模な地震発生を想定した防災訓練で、姫川港関連会社及び関係諸官庁が一体となり実施しています。
油火災消火剤放射訓練(2015年9月29日)

工場総合防災訓練



糸魚川市消防本部、地域消防団とともに、工場内の防火防災訓練を実施しています。
消火訓練風景(2015年6月30日)

姫川クリーン作戦



「河川愛護月間」に関川・姫川水系水質汚濁対策連絡協議会が一級河川(姫川)の美化のために、開催する清掃活動に毎年参加しています。
河川敷での清掃風景(2015年7月3日)

海岸清掃



青海地区海岸の清掃活動を毎年実施しています。
田海川河口海岸での清掃参加者(2015年8月28日)

糸魚川おまんた祭り



毎年、地元糸魚川市で開催される夏祭り、多数の従業員が参加しています。
大市民流しの風景(2015年8月1日)

第1回デンカビッグスワンサッカーフェスティバル



糸魚川市他関係団体とのコラボレーションで、地元及び周辺地域の小学生と保護者約800名をデンカビッグスワンスタジアムに招待し、アルビレックス新潟のサッカー教室とピッチを使用したサッカー交流試合を開催しました。
開会式で整列する子どもたち(2015年10月18日)

■ これからの取り組み

青海工場の従業員一人ひとりが、安全及び衛生は常に最優先であるという強い意識を持ち、各部門の特色を活かした安全活動の推進を継続していきます。また今後も、工場内外を問わず環境維持及び社会貢献活動を積極的に実施し、地元地域からも信頼される工場を目指していきます。

■ 大牟田工場



事業所概要

工場概要 大牟田工場は1916年に当社として最初に建設された工場です。カーバイド、石灰窒素の製造からスタートし、無機化学品の製造拠点として独自の電炉技術、高温制御技術、窒化技術をベースにユニークな製品を数多く生み出してきました。現在は、ファインセラミックス、電子材料領域の事業を強化しています。エレクトロニクス、自動車産業など幅広い産業の発展に貢献していきます。

- 主要製品**
- インフラ・ソーシャルソリューション部門／カルシウムカーバイド、石灰窒素、鉄鋼用耐火物、アルミナセメント、特殊混和材
 - エラストマー・機能樹脂部門／アセチレンブラック
 - 電子・先端プロダクツ部門／溶融シリカフィラー、球状アルミナ、窒化けい素、窒化ほう素、セラミックス系電子回路基板、電子部品用放熱シート、セラミックス複合体、LED用蛍光体

所在地 福岡県大牟田市新開町1 Tel.0944-52-1055

従業員数 605名(2016年3月31日現在)



執行役員 大牟田工場長
平野 秀樹

トップメッセージ

2016年は大牟田工場創設100周年の節目の年です。工場が建設された頃の建築物が大切に取られ、その一部は未だに使用されています。先人の高い技術力と丁寧な仕事ぶりを感じることができ、私たち現役世代はその恩恵を受けていると言えます。変化の激しい今日では、これから先の様子を想定することは簡単では無いですが、無事故・無災害で明るく元気に働ける工場づくりが、次の世代が活躍できる土台と考えます。世の中の動きと大牟田工場の強みを照らし合わせ、「守るべきもの」と「変えるべきもの」をしっかりと認識し、激しい時代の流れに負けることなく、力強く航海してまいります。

2016年度CSR方針

■ 工場長方針

① 次の100年に向かい自由闊達に意見を交わし、生き生きとした工場をつくります。

1. 次の100年を目指し「伝統」に囚われず、「構造改革」の新たな一歩を踏み出す。
2. 一人ひとりが「全体感を持ち一人称で取り組む」気持ちを持ちながら、行動する時には協力会社も含め、全員が気持ちを一つにし「組織的」に動く。
3. 「安全最優先」は「人」を第一に考えること、具現化に多方面から取り組む。
4. 技術と現場力の現状を認識し、守るべきものは守り、変えるべきものは変える。

② 研究開発は時間軸を明確にし、お客様と一緒に進めます。

1. お客様の必要とするモノと時期を知るため、市場との接点を強化する。
2. お客様へ新たな「感動」を届けるため、誰も触れたことのない技術開発を推進する。

③ 「環境」に配慮し、「安全」優先の明るい職場をつくります。

1. 管理職も現場の作業員もそれぞれの立場と持ち場で、以下の項目を「徹底」する。
管理職は次の3つを実施する。
 - ・ 自職場の活動が、法的規制および社規社則に則っていることを確認する。
 - ・ 自職場の設備機器点検、教育および手順整備を抜きの無いよう実行する。

・ 自職場の作業する方々と現場で言葉を交わし、課題を吸い上げ改善する。

作業される方々は次の3つを実施する。

- ・ 作業するその瞬間、その作業を安全に行うため指差確認する。
 - ・ 作業するその瞬間、決められたことを絶対に守ると強い気持ちを持つ。
 - ・ 作業するその瞬間、自分と仲間の安全を守るため整理・整頓・清掃を実施する。
2. 安全と保安は自部門の特徴を考慮し実効的活動を推進する。
 3. 環境マインドを醸成し法令遵守と第6次環境中期計画を推進する。

④ 品質の安定向上とコスト削減のため設備管理とプロセス改善を推進します。

1. モノは設備が作るもの、設備あるべき姿を理解ししっかり管理する。
2. プロセス改善と操業管理強化で低コスト・高品質化を図り、製品競争力を高める。
3. 新規市場への参入に向け、新たな品質管理システムを導入し、品質レベルの向上を図る。

⑤ 「信頼」される企業としての誇りを持ち、より良い社会づくりに貢献します。

1. 会社の「信頼」は、我々一人ひとりの信頼される行動が作り出す。
2. 我々一人ひとりが継続的に実力を高め、コンプライアンスを遵守し真摯に行動する。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

子ども化学教室



市内公民館や小学校にて、特別授業や親子レクリエーションとして、地元小学生を対象とした化学教室を実施しました。(2015年8月1日大牟田市エコサックセンター) また、大牟田市主催の「おおむたエコタウンフェア」に参加し化学教室を開催、多くの参加者を楽しんでいただきました。(2015年11月15日)

おおむた大蛇山まつり



市内最大規模の夏祭りである「おおむた大蛇山まつり」に本年も参加し、「一人ひとりの総踊り」に従業員約100名で参加しました。(2015年7月25日)

工場見学



高校生や大学生、農業協同組合の方々などをお招きし、当社に対する理解を深めていただきました。(2015年5月29日三池工業高校、6月8日大牟田高校、12月2日佐賀大学、3月8日九州大学 延べ4回)

献血活動



2回の献血活動を実施し、2015年度は延べ269名が参加しました。(2015年6月12日、12月8日)

清掃ボランティア活動



工場近隣の住民の方々とも協力しながら工場周辺の清掃活動を行い、美化に努めました。(2015年6月29日、11月4日)

インターンシップ



県内外から高校生、高専生、大学生を受け入れ、工場内での職場体験を実施しました。(受け入れ人数9名/2015年8月:三池工業高校・八女工業高校・鹿児島高専・佐世保高専、2016年1~2月豊橋技術科学大学)

■ これからの取り組み

デンカ100周年に続き、2016年は大牟田工場が創設100周年の節目の年を迎えました。デンカグループの主力工場となるべく、清掃ボランティア活動や子ども化学教室、募金参加といった地域貢献活動を積極的に行い、一人ひとりが、「全体感を持ち一人称で取り組む」気持ちを持ちながら、行動する時には協力会社を含め、全員が気持ちを一つにして行動します。

千葉工場



事業所概要

- 工場概要** デンカの石油化学事業の拠点である千葉工場は、スチレンモノマーを源流としたポリスチレン、ABS樹脂、SBC樹脂、透明樹脂などスチレン系樹脂、EVAエマルジョン、アクリル系ゴムなどの石油化学系製品と、OPSシートや塩ビテープ、住設・環境資材などの樹脂加工製品を製造しています。
- 主要製品**
 - エラストマー・機能樹脂部門 / 超高純度アセチレンブラック、スチレンモノマー、ポリスチレン*、ABS樹脂、透明樹脂、耐熱性樹脂、SBC樹脂「クリアレン®」、EVAエマルジョン、ERゴムなど(※東洋スチレン(株)製品)
 - 生活・環境プロダクト部門 / 食品包材、住設・環境資材、塩ビテープなど
- 所在地** [千葉工場] 千葉県市原市五井南海岸6 Tel.0436-26-3200
[美唄分工場] 北海道美唄市東五条北10-1-1 Tel.0126-62-1444
- 従業員数** 480名(2016年3月31日現在)



執行役員 千葉工場長
小泉 健

トップメッセージ

千葉工場が、地域社会とともに存続・発展し、信頼されるものづくりの場であり続けるため、働く人全てが企業理念「The Denka Value」のもと、環境保全、安全確保等の社会的責任を全うするとともに、新たな価値の創造によって社会に貢献するべく、次の活動に誠実かつ真摯に取り組んでまいります。

- 法令遵守
- 現場力の強化=人財の育成
技術・技能・Know-Whyを含む経験の伝承
当事者意識をもった主体性のある、また責任感のある人材の育成
- 保安、安全、衛生、環境・品質 各管理システムの活用と継続的改善
- 省エネ・省資源及びその他の環境負荷低減
- 地域・社会への貢献(活動)
積極的交流と情報の開示

CSR方針

■ 2016年度 工場長方針

① 継続的改善・向上に基づく社会的責任の全う

② 事業継続を可能とする工場基盤の整備

1. 人財の育成
2. 安全最優先を基本理念とした安全文化の構築と安全基盤の整備
3. 事業継続を可能とする安定収益の確保
間断無きコストダウンの推進による国際競争力の強化
4. 汎用石化から高機能品へのシフト促進による事業構造の転換
5. 明るく元気な、生き甲斐もてる、活気ある職場(工場)づくり

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

「Advanced Chiba 50」運動スタート



50周年を迎えた千葉工場は次の50年を見据えた事業構造改革を図るべく、徹底したコストの総点検、既存製品の機能性向上と拡販、新事業の創出を柱とした「Advanced Chiba 50」運動を開始しました。

超高純度アセチレンブラックプラント操業開始



Lib用超高純度アセチレンブラックの製造プラントが4月に竣工し、10月に本格操業を開始しました。高品質な製品を安全かつ安定的に供給してまいります。

工場総合防災訓練



公設消防やコンビナートの共同防災と合同で、自然災害やプラントの緊急事態に対し迅速かつ適切な対応ができるよう、漏えい事故を想定した防災訓練を実施しました。

協力会社安全活動発表会



協力会社とのコミュニケーションの活性化を図り、無事故無災害に向けてともに協力して活動するため、協力会社各社による安全活動の発表会を実施しました。

技能・知識・経験伝承塾



工場内での技術の継承、人材育成を目的に、社員から講師を募り、ファイナンスやプラント設計など3つの自主講座を開講しました。

環境月間小学生工場見学会



環境省が主催する環境月間の行事の一環として、近隣企業2社(丸善石油化学、日立化成)と合同で地元の小学生160名を招いて工場見学会を実施し、石油化学コンビナートの仕組みや製品を紹介し企業の環境への取り組みを説明しました。

これからの取り組み

千葉工場が次の50年間も社会から信頼され、モノづくりを継続できるように、新たに制定した企業理念「The Denka Value」に則って、安全最優先のもとで安定操業に取り組むとともに、コンプライアンス、労働安全衛生、人材の育成、環境保護、地域貢献など、これまでの取り組みをさらに強化、推進してまいります。

■ 渋川工場



事業所概要

工場概要 渋川工場は1951年に塩化ビニル系樹脂の製造拠点として開設されました。1976年に構造用接着剤「ハードロック®」の製造を開始、1984年には電子材料事業に本格参入して事業領域の転換が進み、現在は、電子回路基板、放熱部材、エミッター、構造用接着剤、仮固定用接着剤や半導体プロセス関連製品などのエレクトロニクス関連製品の生産に特化しています。デンカの有機系電子材料の中核拠点として、成長戦略の一翼を担っています。

主要製品 ● 電子・先端プロダクツ部門 / 高熱伝導性アルミニウム基板「ヒットプレート®」、放熱部材「放熱スパーサー」、熱陰極源「TFE®」「LaB6カソード」、機能性粘着フィルム「エレグリップ®」、構造用接着剤「ハードロック®」、光硬化型接着剤「ハードロック®OP/UV」、仮固定用接着剤「テンプロック®」

所在地 群馬県渋川市中村1135 Tel.0279-25-2109

従業員数 401名(2016年3月31日現在)



渋川工場長
電子・先端プロダクツ部門長補佐
渡邊 祥二郎

トップメッセージ

経営計画「Denka100」の実現に向けて、当工場の主たる生産品目である電子材料関連製品をベースとして、3つの成長戦略に沿った活動を進めています。特に成長ドライバーとなる自動車分野などでの積極的な研究開発に力を入れて、成長軌道をさらに発展させてまいります。

工場の運営基盤である安全確保・環境保全・コンプライアンス・品質管理の活動は、生産活動とともに車の両輪として重要視しています。群馬県渋川市に位置する地域密着型の工場として、地元の発展につながる環境保全、地域住民との交流、学生の研修と教育などにも尽力し、企業活動とともに地域社会の発展のために、今後も貢献してまいります。

CSR方針

■ 工場長方針

創立101年目となる今年度を新たなスタートとして位置付け、「変わるべきところ」「守るべきところ」を掘り下げ、新生デンカ渋川工場としての成長を具現化させてまいります。

① 運営基盤強化の永続的な取り組み

- 危険予知活動の強化や明るく元気な職場作りを推進し、安全・保安・衛生確保に努めます。
- 法令を遵守し、環境負荷低減や品質改善の継続的取り組みを進めます。
- 多様性(Diversity)ある人財の育成・活用を図り、社会貢献活動に積極的に参加します。

② 成長軌道への推進(Denka100計画)

- Denka100計画実現を目指し、2016年度の成長を着実なものとするべく、生産性の向上や新規事業製品化などの諸課題に取り組めます。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

理科実験教室の実施



春休みと夏休みに、当工場にて地元小学生を対象に工場見学および理科実験教室を実施。「マイペットボトルづくり」や「色いろスライムづくり」などを行い、多くの参加者楽しんでいただきました。(2015年8月4日、2016年3月28日)

視察研修



渋川市の諮問機関である渋川市環境審議会の皆さまが来場し、渋川工場の環境対策について視察していただきました。(2015年10月6日)

工場見学



地元の高校生や看護学生、工場近隣の公民館の方々を工場のご案内し、当社の事業について理解を深めていただきました。(2015年4月22日前橋商業高校、6月26日渋川工業高校他)

献血活動



春と秋の年2回献血活動を実施しました。多くの方が率先して採血を行い、群馬県日本赤十字社血液センター所長より感謝状をいただきました。(2015年5月27日、11月17日)

危険輸送に関する教育



アクリル系接着剤「ハードロック®」に代表される、消防法上の危険品を輸送する際の適切な梱包、表示、運用ルールに関する教育を関係部門の担当者を対象に実施しました。(2015年9月3日)

労使共催ソフトボール大会



5月に毎年実施し、労使ならびに従業員家族の交流を図るとともに、健康増進にも役立っています。(2015年5月23日)

■ これからの取り組み

- 安全最優先及びCSR方針に基づき、工場運営基盤の強化を進め、無事故・無災害を継続します。
- ISO9001及びISO14001改訂版の取得を通じ、環境負荷低減・品質改善に継続的に取り組みます。
- 地元の催しへの参画や社会貢献活動により、地域との共生・信頼される工場を目指します。

■ 大船工場



事業所概要

工場概要

大船工場は押出成形・粘着塗工・製膜加工における先進的な技術を活かした製品を生産しています。世界的ブランドとなったウィッグ・ヘアピース用の合成繊維原糸「トヨカロン®」、手切れ性などの機能性に特長を持つ包装テープ、横切れ性ポリエチレンフィルム「Yフィルム」などの多彩な製品を製造する樹脂加工製品の中核拠点です。

主要製品

● 生活・環境プロダクツ部門/ウィッグ・ヘアピース用合成繊維、包装資材、機能性フィルムなど

所在地

神奈川県鎌倉市台2-13-1 Tel.0467-45-1110

従業員数

199名(2016年3月31日現在)



大船工場長
高橋 和男

トップメッセージ

私たちは、日本を代表する文化・歴史・環境を持つ鎌倉市に立地する大船工場で生産活動に従事しています。豊かな自然環境と生産活動との調和を図り、より良い生活と持続可能な社会の実現に貢献することを環境方針に掲げ、廃棄物の削減、省エネルギー活動の推進、環境に関連する法規制の遵守、環境マネジメントシステムの活用を進めています。また、安全活動ではヒヤリハット、リスクアセスメントの積極的な活用、労働災害及び疾病の予防、労働安全衛生に関連する法規制の遵守などを進め、安心して働ける職場環境の実現に努めています。

CSR方針

■ 工場長方針

「誠意とチャレンジ精神で果敢に難題に挑もう!」をスローガンとして、「Denkaの行動指針」に沿って、以下の方針を推進していきます。

① 安全衛生方針

労働安全衛生を生産活動の最も重要な基盤と考えます。

② 環境方針

地域社会、環境と生産活動との調和を図り、豊かな自然環境とより良い生活が持続可能な社会の実現に貢献します。

③ 品質方針

安全で高品質な製品をタイムリーに供給し、お客様の満足度向上に努めます。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

富士見町防災倉庫寄贈



「Denka100」記念事業として、地元町内会に防災倉庫及び防災備品を寄贈しました。(2015年5月25日)

夏祭り



地元富士見町町内会の夏祭りに工場正門の広場を提供し、模擬店の出店等を通じ近隣の方々との交流を深めました。(2015年7月11日、12日)

町内クリーンアップ



地元町内会に協力し、近隣町内のクリーンアップ活動に参加、地域の美化に協力しました。(2015年9月27日)

大船小学校



地元小学校3年生が工場を見学され、当社合成繊維製品で作ったウィッグの装着も体験していただきました。後日、皆さんから感謝文をいただきました。(2015年11月10日)

鎌倉女学院中学校



地元の中学校1年生がグループ校外活動として工場見学に訪れ、製造設備を熱心に見学されました。(2015年11月5日)

餅つき



地元町内会の会館をお借りして労組主催の餅つき大会を開催、自治会や子どもたちとの交流を深めました。(2015年2月7日)

■ これからの取り組み

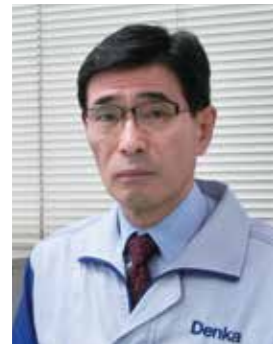
- ヒヤリハット・リスクアセスメントを積極的に活用し、リスクの継続的低減に努める。
- ISO9001及びISO14001(2015年度版)の2017年度の移行に向けて活動する。
- 従業員への階層別教育を充実させ、安全・環境・品質意識の向上を図る。
- 地域に信頼される事業所として、地域との積極的な社会活動を継続する。

伊勢崎工場



事業所概要

- 工場概要** 伊勢崎工場は、ポリスチレン、塩化ビニルなどを原料とするシート・フィルムの製造を行っています。食品包装材料や電子包装材料といった、高機能でかつ徹底した品質管理が必要な用途へ製品を供給しながら、加工技術の向上と、高付加価値製品の開発に取り組んでいます。
- 主要製品**
 - 電子・先端プロダクツ部門／半導体、各種電子部品の搬送工程で使用されるキャリアテープ、トレイ、カバーテープなど
 - 生活・環境プロダクツ部門／各種食品包装用シートやストレッチフィルム、太陽電池モジュールのバックシート材料
- 所在地**
 - 【伊勢崎工場】群馬県伊勢崎市長沼町西河原245 Tel.0270-32-1251
 - 【伊勢崎工場(太田地区)】群馬県太田市世良田町3015 Tel.0276-52-4111
- 従業員数** 248名(2016年3月31日現在)



執行役員 伊勢崎工場長
田口 広一

トップメッセージ

伊勢崎工場は、デンカの樹脂シートやフィルムを生産するグループ会社の工場として、群馬県伊勢崎市にやってきたのが始まりです。その後の事業発展に伴って太田市の上武国道沿いにも伊勢崎工場(太田)をつくり、この二つの工場が現在のデンカ株式会社伊勢崎工場になっています。

当工場は「The Denka Value(企業理念)」におけるDenkaの使命「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造(つくる)ことで、社会発展に貢献する企業となる。」とDenkaの行動指針に従い、安全最優先のもとで高品質な製品を生産するとともに、環境に配慮した新製品を生み出して社会へ提供しています。地域社会の信頼を得ながら、ともに発展する工場として、社会的責任を果たしていきたいと考えています。

CSR方針

新たな100年に向かって全員の力を合わせ、スタートダッシュしよう!

1 安全・衛生

- 安全最優先の基本方針を全員が強く認識し、力を合わせて安全活動を積み重ね、安全に生産、安全に研究開発する文化を構築する。
- 何でも話せる、働きやすい快適な職場環境を整備する。

2 品質

- 技術動向に対応する品質レベルにさらなる向上を図る。
- g-r活動(QCサークル活動)による品質改善を行い、現場力を向上させる。

3 環境

- 環境負荷低減になる研究開発を推進する。
- 省エネ・省資源・省力化となる生産技術を向上させる。

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)



伊勢崎市主催のモノづくり(工業製品、工芸品等)の認知度を高めるイベントに参画するなど、地元自治体の取り組みに協力しています。(2015年11月14日スマーク伊勢崎)



伊勢崎地区では工業団地内の公園を定期清掃しています。また、太田地区でも工場周辺のゴミ拾いを行っています。



工場全体の防災訓練を毎年実施して、災害等への対応を進めています。(2015年11月30日、12月16日)



QC活動が活発化しており、代表グループはQCサークル群馬大会に出場しています。2015年度は優秀賞を受賞しました。(2015年5月19日、9月29日)



健全な労使関係を構築し、従業員の一体感を醸成するために労使で手を取り合っている行事を手掛けています。(2015年10月3日ソフトボール大会)



年末年始や全国安全週間には労使共催で朝の声かけ運動を行い、従業員とのコミュニケーションの向上や安全意識の啓発を図っています。(2015年7月1日、2日)

これからの取り組み

従業員一人ひとりの安全確保に向けた活動の積み重ねに加えて、機械化などによる軽労化も図ってまいります。品質面においては、多様化するお客様の要望に応える品質レベルの向上に努めます。

健全な労使関係のもと、従業員が働きやすい職場づくりを進めるとともに、地域社会への貢献活動を推進してまいります。一歩一歩着実に歩みを進め、これからも社会に貢献できる事業所であり続けるよう努力をしております。

■ デンカイノベーションセンター



事業所概要

工場概要 デンカイノベーションセンターの歴史は、1962年に目黒研究所(東京都目黒区)が移転して町田に開所した、中央研究所に始まります。これまで無機化学、セラミックス、有機化学、石油化学、バイオや樹脂加工分野などで多くの基盤技術を創出し、当社の事業を確立する礎となってきました。これからもデンカグループの研究開発の中心拠点として、基盤技術のさらなる深耕を進めながら、大型次世代製品の開発や中・長期的テーマの研究開発活動に注力していきます。

所在地 東京都町田市旭町3-5-1 Tel.042-721-3611

従業員数 172名(2016年3月31日現在)



常務執行役員
研究開発・イノベーションセンター担当
新事業開発部、研究推進部、知的財産部担当
清水 紀弘

トップメッセージ

デンカグループの研究開発の拠点となる「デンカイノベーションセンター」本館を2014年4月3日に竣工し本格運用を開始しました。これを機に、成長が期待されるライフサイエンス事業強化の一環としてライフイノベーション研究所を新設するとともに、従来の組織も先進技術研究所、インフラソリューション開発研究所へ改編し、3つの研究所体制に強化しました。本センターにデンカグループの総合力を結集するとともに「オープンイノベーション」の中核拠点と位置付けて、産・学・官の相互成長につながる共同研究を進めています。

未来を切り拓く気概を持ち、画期的な新しい製品とソリューションの創造にチャレンジし、グループ一丸となった新たなイノベーションを起こしていきたいと思えます。

CSR方針

- サステナブルな企業活動を目標に、社会規範を遵守する風土を醸成していく。
- 環境負荷軽減(作業環境の整備も含む)、化学物質の規制強化への対応、知財面での瑕疵防止を重点的に推進する。



中庭の様子



打合せスペース

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)



「夢・化学21委員会」子ども化学実験ショー
「夢・化学21委員会」主催の「子ども化学実験ショー」に4年連続で出展。次代を担う子どもたちとその保護者に化学のおもしろさや不思議さ、化学産業の社会貢献などについて知っていただきました。(2015年8月1日、2日東京・北の丸公園の科学技術館)



化学実験ショー
地域小学校の児童と社員家族の児童を対象に化学実験ショーを昨年から継続して開催。セメントの不思議な化学反応の体験と自分だけのキーホルダーを製作。環境にやさしい身近にある化学製品を知っていただきました。(2015年7月11日)



企業見学会
地域小学校の3年生社会科学習の一環で地域の企業見学会を昨年から継続して開催。当社の紹介と電子顕微鏡の体験、ヒアルロン酸の溶解実験など体験。従業員とのコミュニケーションも活発に行われました。(2015年10月22日町田第四小学校)



清掃活動
社会奉仕活動としてイノベーションセンター周辺の清掃活動を毎月実施。行き交う地域住民の皆さんとも挨拶を交わし、本活動への理解が深まっていると感じていました。



イノベーションFESTA
毎年恒例の「イノベーションFESTA」を開催。従業員とその家族約160名が参加し、親が働く職場環境の雰囲気を実験していただいたり、全員参加のゲームなどで交流するなど、懇親を深めました。(2015年8月27日)



総合防災訓練
地域消防署の消火訓練・救助訓練と協同したイノベーションセンター総合防災訓練を開催。万一の時の初期消火対応や避難訓練とともに、有害化学物質の環境漏洩防止手順などを確認しました。(2015年11月30日)

■ これからの取り組み

オープンイノベーションを通してエネルギー分野、環境分野、インフラ分野、健康分野においてコラボレーションや技術融合を推進し、次世代事業創出にチャレンジしています。パートナー企業と協同することで今まで以上のスピードをもって、次代の潜在ニーズに応える新たな価値を創造することで社会発展に貢献します。

メルバウ工場 (デンカシンガポール プライベートリミテッド)

Denka Singapore Pte.Ltd. Merbau Plant



事業所概要

- 工場概要** 1980年にデンカがシンガポール石油化学コンプレックスプロジェクトに参画して設立された、シンガポール最初のプラントです。シンガポールの石油化学産業が集積するジュロン島において、アセチレンブラックの製造を行っています。1984年に50%プレス設備の稼働を開始し、1997年に増設を実施、2002年には粒状設備を新設しました。
- 所在地** Office : 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807
Tel.65-6225-6120
Plant : 300 Ayer Merbau Road, Singapore 628282
Tel.65-6867-8496
- 従業員数** 50名(社員33名、協力会社17名)(2016年3月31日現在)



General Manager
古賀 祐司

トップメッセージ

私たちの工場では昨年、5年間無災害達成直前の6月30日に災害を発生させてしまい、「安全」の難しさを痛感いたしました。「自分を守り、一緒に働く仲間を守る安全活動」を徹底し、不安全及び潜在危険箇所への対応に注力していきます。

CSR方針

- 無事故・無災害の継続
- 保安基準等の設定背景、根拠の明確化と教育の実施
- 自分を守り、一緒に働く仲間を守る安全活動の実施(不安全及び潜在危険箇所への対応)
- 美化活動(塗装、5S強化)

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

PCS*との合同緊急訓練(年4回)、従業員への教育強化、現場作業員への声掛けと作業前・中の注意喚起

*PCS:Petrochemical Corporation of Singapore



これからの取り組み

社員・協力会社社員に不安全・潜在危険箇所のヒアリングを行い、全員で意見を出し合いました。これらを踏まえ設備面及び作業面の改善を実施し、また、塗装や5S強化により工場内の美化を進め、安全で綺麗な工場にしていきます。



メルバウ工場一同

セラヤ工場 (デンカシンガポール プライベートリミテッド)

Denka Singapore Pte.Ltd. Seraya Plant



事業所概要

- 工場概要** セラヤ工場は1998年にGPPS製造プラントとして生産を開始し、2006年にはMS樹脂「TXポリマー®」とSBC樹脂「クリアレン®」プラントを増設、2012年4月にはイミド化ポリマー「デンカIP®」のプラントを稼働させ、4プラント合計で、年間325,000トンの生産能力となりました。工場内にはテクニカルセンターも設置する、スチレン系樹脂事業の一大拠点です。
- 所在地** Office : 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807
Tel.65-6225-6120
Plant : 40 Seraya Avenue, Singapore 627873
Tel.65-6867-6089
- 従業員数** 70名(2016年3月31日現在)



General Manager
川村 禎生

トップメッセージ

Denkaは限りある資源とエネルギーを利用して「価値ある製品」を作り、生産活動を通して社会貢献をしていく会社です。そのためには生産活動を行う「環境」「社会」、そしてDenkaで働く「人」に対する十分な配慮と調整が必要になってきます。このシンガポールにおいても、環境、社会、人との関わりを大切にしながら、地域・国に根差した生産活動を行っていきます。

CSR方針

- 安全第一で、環境負荷の小さな工場を目指して生産活動を行います。
- 従業員、構内作業員、お客様含めたすべての皆さまへ安全な作業、労働環境を提供します。
- 工場従業員各々が、良いサービス・プロバイダーとして社会貢献を目指します。

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

防火訓練



Singapore Civil Defense Force (シンガポール消防当局)による防火訓練の監査を受審し、講評をいただきました。安全にゴールは無く、継続的に保安、安全活動に取り組みます。

工場懇親会



工場近郊のJurong Country Clubにて懇親会を行いました。部門を越えて楽しくコミュニケーションを図りました。

5S活動



包装業務を委託しているUSS社と毎週水曜日に工場5S活動を行っています。毎回活動の終わりにBest 5S playerを表彰して、工場作業環境の維持改善に努めています。

これからの取り組み

Denkaは101年目を迎え、次の100年へ向けて新たなスタートを切りました。これを契機として、守るべき文化を守り、進歩を目指して変えるべきところは変えるための、最前線の現場からのフィードバックを具現化するための「Denka 100 Group Activity」をスタートしました。国際語にもなっているKAIZENを根付かせ、自分たちの力でより良い工場を築き、社会に貢献していきます。



セラヤ工場一同

トアス工場 (デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

Denka Advantech Pte.Ltd. Tuas Plant



事業所概要

- 工場概要** トアス工場は、熔融シリカフィラーの海外生産拠点として、1991年に操業を開始しました。本製品の主用途となる半導体パッケージの高性能化、環境対応に特化した球状タイプの生産に集中し、品質向上や生産体制の強化を進めています。大牟田工場との連携のもと、当場からは中国、東南アジアの市場を中心に製品を供給しています。
- 所在地** Office : 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807
Tel.65-6321-9530
Plant : 11A Tuas Avenue 20, Singapore 638823
Tel.65-6861-0004
- 従業員数** 59名(2016年3月31日現在)



General Manager
内藤 栄俊

トップメッセージ

トアス工場は熔融シリカフィラーの生産拠点として25周年を迎えました。厳しい半導体の市場環境の中、熔融シリカの主要生産拠点として今後も発展を遂げるべく、安定操業の継続、生産技術の向上、製品品質の改善に取り組んでいます。工場の運営の上で設備の保安、従業員の安全確保は基本です。継続して従業員全員が安心して働ける職場環境を築き上げるべく安全活動を推進しています。

CSR方針

- 工場の保安・従業員の安全を確保
- 省エネ、省資源推進による環境負荷低減
- 品質リスク管理によるクレーム防止、顧客満足度の向上
- 市場の需要・技術動向にマッチした供給体制の整備
- 工程改善と生産技術向上によるコストダウンの推進

サウス工場 (デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

Denka Advantech Pte.Ltd. South Plant



事業所概要

- 工場概要** サウス工場は、ウィッグ・ヘアピース向け合成繊維「トヨカロン®」の製造工場として2013年6月より操業を開始しました。当社は1952年に世界に先駆けてPVC繊維の工業化に成功、現在はアフリカやアメリカの頭飾用繊維市場を中心に出荷しています。今後はアフリカ市場の一層の拡大が見込まれており、大船工場に続く第二の拠点として世界の需要に応えていきます。
- 所在地** Office : 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2 Singapore 068807
Tel.65-6224-1305
Plant : 6 Tuas South Drive Singapore 637046
Tel.65-6412-9200
- 従業員数** 41名(2016年3月31日現在)



General Manager
黄野 隆文

トップメッセージ

アフリカ市場向け頭飾用繊維の生産拠点として2013年6月に操業を開始してから3年が経ちました。昨年は操業開始から続く無事故・無災害を継続することができ、また生産効率向上によるコストダウン等、種々取り組んでまいりました。今年度も安全体制の強化、さらなる品質向上、コストダウンの推進を行ってまいります。

CSR方針

- 安全活動推進による無事故・無災害の継続
- リサイクル・省エネ推進による環境負荷低減
- 生産体制強化による品質向上とコストダウン
- 社内外のコミュニケーション推進

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全



安全パトロールや緊急時対応訓練等の活動に加え、2015年より安全指導者による全作業員対象の安全講習会を定期開催し、安全意識の向上を図っています。



環境



省エネ活動(生産性向上による電力・ガス原単位の削減、省電力ライトへの切替え等)、リサイクル推進(ポリエチレンカバー、フレコンバッグ、金属等)、節水活動(水道水管理システム導入)

コミュニケーション



毎月の安全懇談会の場で工場内外の種々課題につき議論しています。また、従業員表彰、従業員親睦のため年1回ディナーパーティーを開催しています。

これからの取り組み

工場では2016年3月に2年間無災害を達成しました。この記録継続のため、安全講習会に加え、提案・ヒヤリハット抽出等の活性化を図り、さらなる従業員の安全意識向上を図ります。一方、厳しい事業環境の中、生産性向上等によるコストダウンが大変重要となっています。従業員一丸となりこの課題に取り組んでいきます。



トアス工場一同

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全活動



月例5S安全パトロール及び対策会議や避難・消火訓練を実施しています。

生産体制強化活動



工程検査強化、作業手順書見直しとオペレーター再教育による品質向上に努めています。収率向上等によるコストダウンも達成しました。

コミュニケーション推進



社内ミーティングを継続し、従業員親睦のためディナーパーティーも開催しています。

環境活動

ユーティリティー原単位削減、不要箇所での照明・エアコンオフの励行に努めています。

これからの取り組み

安全や環境活動など、当社の基本的な活動への注力を継続し、無事故・無災害の継続に努めます。

特に、サウス工場では英語が不得意な中国系作業員が増えているため、作業手順書や表示物の中国語併記、英語と中国語を話せるスタッフによる作業再教育等を進めています。今後この活動をさらに充実させ、安全及び製造技術レベルの底上げに取り組んでいきます。



オペレーター再教育

■ デンカアドバンスマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド Denka Advanced Materials Vietnam Co., Ltd.



事業所概要

- 工場概要** 当社は、アジア、中東地区の旺盛な需要に応えるため、自動車電装電線（ワイヤーハーネス）結束用途に使用する「ビニテープ®」と、電子部品、半導体部品搬送用エンボスキャリアテープ「デンカサーモフィルム®」の製造・販売を目的に設立されました。当社は、物流やコスト面での優位性を活かして、より競争力のある製品を供給してまいります。
- 所在地** Plot D-5, Thang Long Industrial Park II Yen My District, Hung Yen Province, Vietnam
Tel.84-321-397-4805 Fax.84-321-397-4806
- 従業員数** 79名(2016年3月31日現在)



General Director
佐々木 欣夫

トップメッセージ

デンカベトナムは、「ビニテープ®」とカバーテープの製造・販売を行うために、2013年12月に設立して本格製造を始めたばかりの新しい会社です。雇用の確保、原材料の現地調達などを通じて、ベトナム地域経済への貢献を目指しています。今後、さらなる増産を図るとともに、周辺の村の学校への寄付活動を通じた社会貢献も継続してまいります。

CSR方針

全社員に「社員は、会社の宝である。」とのメッセージを発信しています。安全の確保は勿論のこと、安全教育の充実、作業環境の向上、風通しの良い職場の構築を図り、社員が生き生きとして働ける会社を目指しています。製造においては、品質の継続的向上、環境負荷の低減のためにISOを活用しています。工場周辺の住民から愛される会社を目指して、地域貢献活動を継続して推進してまいります。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全教育や救急訓練の充実



安全で快適な職場づくりを目指しています。

社内旅行で島に宿泊



様々なアクティビティを通じて、社員間の団結力を高めています。

駅伝大会出場



「ビニテープ®」の廃材でユニフォームをつくり、デンカをアピールすると同時に社員の結束を高めています。

地域貢献



周辺の村にコンピュータを寄付するなど、工業団地の一員として活動しています。

■ これからの取り組み

儒教の国ベトナムは、家族の結びつきが日本と比べてとても強固です。当社は操業開始2年目を迎える今年、会社創立記念日(12月20日)に合わせたファミリーデーを企画しています。上述のCSR活動に加えて、従業員の家族の皆さんにも会社をよく理解してもらうことで、家族ぐるみで従業員との信頼関係を、より強くしていきたいと考えています。



デンカベトナム一同

■ デンカインフラストラクチャー マレーシア スンディリアンブルハド Denka Infrastructure Malaysia Sdn Bhd.



事業所概要

- 工場概要** 当社は2002年に設立され、2015年からデンカグループの一員となりました。DISBの主力事業は特殊建設用化学品の製造、販売です。建設用化学品市場で世界のリーダーとなることを目標としています。
- 所在地** No 18, Jalan Utas 15/7, Seksyen 15, Shah Alam, 47650, Selangor, MALAYSIA
Tel.+603-5510-8810 Fax.+603-5510-0708
- 従業員数** 116名(うち日本人スタッフ2名、協力会社社員36名)(2016年3月31日現在)



Managing Director
Paul Low

トップメッセージ

Denka Infrastructure Malaysia Sdn. Bhd(DISB)は2015年4月よりDenkaグループの一員となりました。健康的で安全な職場環境づくりとともに、国内外の法規制、関連する指針やガイドラインに則り、安全な業務遂行を実践していくことを当社の方針としています。

安全・健康・環境関連のマニュアル整備の継続的な取り組みに加え、安全で快適な職場を保つため、従業員の意識を高める訓練を実施しています。

CSR方針

- 安全な作業手順、安全な職場環境の整備
- 特定されたリスク全てに対する安全対策の確立
- 従業員への、健康、安全、環境保全に関する緊急事態に備えた安全管理スキルの継続的な向上
- 従業員の一体感の醸成

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)とこれからの取り組み

安全活動



職場での負傷災害、特にフォークリフト作業や、製造工程、化学品の取り扱いでの災害発生を回避することを重要な目的としています。加えて、災害防止への意識を高めるため、従業員に対し定期的な安全訓練を継続しています。

環境活動



DISBでは廃棄物低減に向けた取り組みに継続して取り組んでいます。化学品の処理を適切に行うため、化学品廃棄物を管理する区画を新たに設置しました。また2016年から2017年の間に、セメントサイロや製造現場で発生する粉塵を低減するための、コントロールシステムの導入を計画しています。

コミュニケーション活動



従業員の連帯感は重要であり、全従業員にスポーツクラブ主催の行事へ参加することを推奨しています。2015年には、ホーチミン旅行や、ボリング大会のスポーツ行事などを開催しました。これらの行事にはシンガポール、インドネシア、香港からの従業員も参加しています。今後は、従業員の一体感醸成のため、さらにスポーツ行事や社員参加行事を開催してまいります。



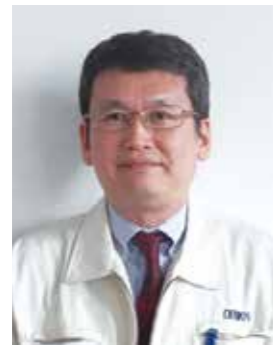
DISB一同

■ 電化精細材料(蘇州)有限公司



事業所概要

- 工場概要** 当社は、中国におけるデンカ戦後初の生産販売会社として2006年1月に設立されました。現在、電子包装材料であるキャリアテープ関連シートの原反製造及びスリット加工、ならびに食品包装用シートの製造を行っています。
- 主要製品** 電子包装材料用キャリアテープ・食品包装用シート
- 所在地** 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号現代工業坊9B
Tel.86-512-6287-1088
- 従業員数** 86名(日本人4名を含む)(2016年3月31日現在)



総経理
小山 達哉

トップメッセージ

全ての社内活動を進める上でのベースとして、新たな工場長方針「ルールを守り、マナー・モラルを以って行動し、お互いを理解・尊重し、各自が常に向上心を持って無事故無災害の継続と、顧客満足度の向上を追求し続ける。」を掲げました。

CSR方針

- 無事故・無災害を実現するための安全活動を地道に継続する。
- 法令を遵守し、環境保全への取り組みを主体的に進める。
- 教育・訓練を積極的に実施し、常に職場のレベルアップを図る。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

消防訓練(分公司)



5Sパトロールは製造関係の管理職だけでなく、管理部門や他部門の製造従事者なども参画します。

社員旅行



新入社員への教育は、入社時導入教育に加えて、慣れてきた1か月後での再教育を開始しました。

■ これからの取り組み

11年目を迎えた電化精細材料(DAS)は、マザー工場である伊勢崎工場との連携を更に深めていくことにより、安全、品質、生産性、コストなどあらゆる面でのレベルアップを図ります。

特に安全については、当面の大きな通過点である無事故・無災害1000日へ向けて、社員が一丸となって各種活動に取り組んでいきます。



分公司(食包分工場)

■ 電化新材料研究(蘇州)有限公司



事業所概要

- 工場概要** 当研究所は、中国市場におけるデンカ製品の需要家から寄せられる分析、検査、性能評価、改良などの要望に迅速に応えるべく2010年12月に設立されました(営業開始2011年8月)。現在、特殊合成ゴム(クロロプレン、ER)、「ハードロック®」(2液アクリル系接着剤)、コンクリート用特殊混和材の研究開発を行っているほか、2013年度からは、食品包材用機能性シート、仮固定用接着剤「テンプロック®」の研究にも着手しています。
- 所在地** 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号現代工業坊1D
Tel.86-512-6280-6808
- 従業員数** 20名(2016年3月31日現在)



総経理
大島 和宏

トップメッセージ

電化新材料研究(DCD)は、現在、当社クロロプレンゴムをはじめ、機能性接着剤、特殊混和材および機能性シートの中国市場に適した製品開発を進めています。実績化を常に意識し、「顧客要望への迅速な対応」、「新規市場開発の推進」、「現地生産への支援」を積極的に進めるとともに、今後、中国国内の環境改善につなげる新事業創出活動も取り組んでまいります。

CSR方針

- 無事故・無災害の達成
- 企業安全生産標準化及び職業病防治法*対応 ※労働安全衛生に係わる中華人民共和国の制度
- 明るい元気な職場作り/環境改善の推進
- 中国人スタッフ・試験員の戦力化及びレベルアップ
- 安全関係の整備と安全教育の充実化
- 中国国内の環境改善につなげる新規テーマの探索

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

中国知的財産権(専利法)勉強会(人材育成)



研究には欠かせない特許法(中国では専利法)の勉強会を、合計3回、外部講師(金天知的財産代理事務所/夏所長)を招き、実施しました。

社員家族旅行(コミュニケーション)



従業員及びそのご家族と一緒に、5月には灵岩山へ登山、11月には楊澄湖へ上海蟹ツアーを実施しました。

■ これからの取り組み

- 行動災害に対するKY徹底
- 安全生産標準化取得とPDCAを意識した安全衛生活動
- 働きやすい風土の醸成と福利厚生活動推進
- 発表能力向上、プレゼン資料の充実化や特許教育等の基礎教育実施
- ハード面での適切な対応と外部講師による安全教育
- 環境改善ニーズの掘り下げとテーマアップ



電化新材料研究(蘇州)有限公司一同

■ 電化無機材料(天津)有限公司



事業所概要

工場概要 当社は、中国市場でのインフラ整備・補修需要の高まりを受け、セメント・コンクリート用特殊混和材の同国初の製造拠点として2013年9月に設立されました。中国特殊混和材の事業統括会社である「電化創新(上海)商貿」、研究開発拠点となる「電化新材料研発(蘇州)」と連携して、地元材料・工法に基づく市場ニーズに、的確かつスピーディーに応える生産体制を整えています。

所在地 中国天津市西青経済技術開発区賽達機械園3号
Tel.86-22-8792-0488

従業員数 9名(2016年3月31日現在)



総経理
中川 由則

トップメッセージ

当社は、「環境」に配慮し、「安全」優先の職場づくりを行うことで、「信頼されるものづくり企業」となるよう、まじめで誠実な企業活動を実践してまいります。

CSR方針

安全操業を企業活動の基盤とし、社内美化と労働環境改善を推進して、働く人にやさしい企業を目指します。

■ 電化電子材料(大連)有限公司



事業所概要

工場概要 当社は高速鉄道などに用いられるパワーモジュールの信頼性向上に欠かせない高性能放熱プレート「アルシク®」製造を目的に2015年から操業を開始いたしました。安全かつ環境への負荷が少ない高速鉄道は、今後世界各国で需要の拡大が見込まれており、これらの需要に応えるべく、高品質な製品を安定的に供給できる体制を構築してまいります。

所在地 中国遼寧省大連市経済技術開発区湾達路41-10号
Tel.86-(0)411-6263-4377

従業員数 30名(日本人2名を含む)(2016年3月31日現在)



総経理
福田 誠

トップメッセージ

当社は、鉄道車輛等に搭載されるパワーモジュールの放熱板「アルシク®」の製造を行う会社として、2014年9月に中国・大連に設立されました。マザー工場であるデンカ大牟田工場の支援を受け、昨年8月より製造を開始しています。設立されたばかりの新しい会社ですが、社員一丸となって安全で快適な会社づくりに取り組んでまいります。

CSR方針

- 安全最優先の方針のもと、安全で快適な職場づくりを進める
- 法令を遵守して、環境保全に取り組む
- 教育・訓練による人材の育成

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全活動



当社の主要原料であるアルカリ性物質の危険性の体験研修を実施しました。

環境・衛生活動



朝礼後、皆で中国式ラジオ体操を行い、一日の作業を開始します。

■ これからの取り組み

中国での安全に関連する法や規則を遵守し、現地に合った体制づくりを進め、より安全な職場づくりを行うとともに、工場周りの緑地を美しく整備し、より快適な雰囲気を持つ職場環境を構築していきます。



朝礼ミーティング

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全活動



不安全行動や作業ミスが災害につながらないように、朝礼での安全三か条の唱和、ラジオ体操、安全教育、職制による安全パトロール、リスクアセスメントなど、安全文化を根付かせるための安全教育・活動を展開しています。

コミュニケーション活動



提案・ヒヤリハット制度を用いたボトムアップによる改善活動を進めています。提出された提案・ヒヤリハットは全体ミーティングで全員の前で表彰し、モチベーションのアップを図っています。また、新年会や花見会などを通して、風通しの良い、話しやすい職場づくりに努めています。

環境活動

産業廃棄物の削減のため、収率向上に取り組んでいます。大牟田工場とも定例ミーティングを行い、進捗を確認しています。社員全員に進捗状況の説明と改善のポイントを教育し、目標に向けてベクトルを合わせて活動しています。

■ これからの取り組み

当社はできたばかりの新しい会社でもあり、社員も二十代後半という若い人が主体の会社です。デンカのものづくりの文化を中国・大連に根付かせるべく、教育・訓練を計画的に進めるとともに、現地の人たちの改善意欲を活性化して、安全で働きがいのある職場づくりを目指します。



電化電子材料(大連)有限公司一同

■ デンカパフォーマンスエラストマー エルエルシー Denka Performance Elastomer LLC



事業所概要

- 工場概要** 当社は、デンカ、三井物産の共同出資により、2015年11月にアメリカDuPont社のクロロプレンゴム(ネオプレン™)事業を譲り受けて設立されました。伝統あるDuPont社のネオプレン事業と、デンカが独自に研鑽した技術を組み合わせ、アメリカ市場へより高品質な製品を供給してまいります。
- 所在地** 560 Highway 44, LaPlace, LA70068, USA
Tel.+1-985-233-3080 Fax.+1-985-359-4781
- 従業員数** 250名(2016年3月31日現在)



Vice President Technology
香坂 昌信

トップメッセージ

2015年にDenkaと三井物産の共同出資でデュポン社よりクロロプレンゴム(商標名:ネオプレン)事業を買収し、デンカパフォーマンスエラストマーLLC(DPE)として事業を開始しました。アメリカ人スタッフとともにDenkaのコア事業であるクロロプレンの一層の拡大を目指しながら、地域社会の発展にも貢献していきます。

CSR方針

安全・保安・環境は事業運営上の基盤であり、地域住民の信頼・理解を得るべく密接に協力しながら様々な活動を行っています。今後も定期的に地域住民と意見を交換し合い、信頼関係を構築してまいります。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

地域のゴミ収集



各企業が協力して近隣の家庭から有害ゴミを収集するサービスが毎年4月に催されており、当社も初参加しました。

ニア ネイバーズ ミーティング



2か月に一度、地域の住民を招き、工場の操業状況の報告と意見交換を行っています。

New Comer's Award受賞



今年2月に発生したトルネード被害に対する災害支援金としてUnited Way(慈善福祉団体)へ1万ドルの寄付を実施したことが評価され、Newcomer's Awardを授与されました。

■ これからの取り組み

当社のコア事業であるクロロプレンゴムの事業基盤をアメリカに築き上げるべく、高品質で安定的な供給体制を強化し、顧客満足度の更なる向上を目指します。本買収はDenkaの経営計画「Denka100」の新成長戦略のひとつ、「生産体制の最適化」の最重要テーマであり、目標の早期達成に取り組んでいきます。

■ アイコンジェネティクス ゲーエムベーハー Icon Genetics G.m.b.H



事業所概要

- 工場概要** 当社は、タバコ植物を使って効率的にタンパク質を製造する独自の保有技術をベースに、ワクチンや診断薬を研究開発している企業であり、臨床試験向けのワクチンの供給や試薬向け遺伝子組換えタンパクの試作等に対応できるGMP施設を有しています。また、これまでの研究開発からワクチンや診断薬分野で数々の製品候補を保有しています。
- 所在地** Weinbergweg 22, D-06120, Halle (Salle), Germany
Tel.+49-345-5559889-664 または 885
- 従業員数** 17名(日本人2名含む)(2016年3月31日現在)



CEO
蛭田 和幸

トップメッセージ

アイコン ジェネティクス ゲーエムベーハー (Icon)は、2015年8月にデンカグループの一員となったバイオ系研究開発企業です。これまでに当社はヘルスケア分野で有用な遺伝子組換えタンパク質を1か月という短期間で効率よく産生でき、特にワクチンや診断薬の開発・製造に最適な一過性産生技術を開発してきました。本技術を通じて、当社は広く人々の健康維持・増進に貢献できる製品開発に取り組んでまいります。

CSR方針

- 地域社会と価値を共有できる革新的かつ持続可能なビジネスモデルを追求する。
- 教育・訓練を充実し、人材育成を促進する。
- 職場環境向上を継続的に推進。特にバイオ系企業として求められる法令遵守に取り組む。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全活動(教育・訓練、法令遵守)



生物安全性(現在、当社はドイツ国の法令に従い、生物安全性水準1(S1)で運営)や保安規定に関する要求を満たすよう、全従業員を対象とした教育を定期的に行いました。また、ドイツ国内ならびに国際的要求に従い、GMP製造に関する標準業務手順書や品質保証システムを更に充実させました。

環境活動

化学品や潜在的有害廃棄物処理については、国のルールに従い厳格に対応しました。地元政府が定期的にモニターしていますが、現所在地での16年間の活動で、これまで一度も違反がなく、地元政府や地域社会から信頼を得ています。

他社、地域との交流(地域社会と価値を共有)



当社は、地元州政府の生化学ネットワークを通じ、他業種・学会との交流を深めています。また、当社技術の紹介等を通じ、地域での当社への理解を深めていただいています。

■ これからの取り組み

バイオ系研究開発企業として、生物安全性などの法令遵守が何よりも重要と考えています。これをベースに人々の健康維持・増進に貢献できるワクチンや診断薬をタイムリーに開発し、これを通じ地域にも貢献できるよう取り組んでまいります。

■ デンカポリマー株式会社



事業所概要

- 工場概要** 当社は1966年に設立したプラスチック軽量食品容器の総合メーカーです。デンカグループの総合力を基盤として多層・複合シートの特性を追求しながら、包装適性・デザイン・色彩などの商品価値を向上させて、多面的なパッケージの可能性に挑戦しています。
- 主要製品** OPS製品、惣菜容器、弁当容器、寿司容器、刺身容器、PSPTレー、ソフライト製品、農産品容器、食品包装用ストレッチフィルム
- 所在地** 本社：東京都江東区木場1-5-25 Tel.03-5632-9530
工場：千葉県内3カ所(佐倉、五井、香取)
- 従業員数** 504名(2016年3月31日現在)

トップメッセージ



代表取締役社長
坂本 剛

デンカポリマーはすべての食品用包装容器製品において、「安全・安心」はもとより、消費者の使いやすさ、美味しさ、さらにはテーブルウェアとしての機能性にもこだわる姿勢を貫いてまいりました。2015年には主力のOPS製品のさらなる強化のため、デンカ株式会社のグローバルな研究開発支援体制のもと、業界最先端の研究成果となる高機能の新素材「ユーガード」を開発いたしました。今後も新たな価値の創造に取り組んでまいります。

CSR方針

デンカポリマーは消費者に身近な商品を扱っており、「安全・安心」を会社方針としています。この「安全・安心」は消費者だけではなく、地域社会に対しての意味合いもあり、「法令遵守・人材育成・職場環境づくり」にも努めてまいります。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

耐油性を高めた容器「ユーガード」シリーズを発表



東京ビッグサイトで開催された展示会(ファベックス)で「ユーガード」製品を出展。食材の影響によって発生する容器割れや、加熱時の穴開きを改善する安全性の高い容器として好評を得ました。

「佐倉市産業まつり 佐倉モノづくりFesta2016」への参加



2016年5月14日、15日に佐倉市民体育館において開催された、地域活性化のための地域産業展に参加しました。佐倉市内の工業、農業、商業、サービス業などの様々な会社や団体が集まり、地域の方々へ自社の製品や事業を紹介し理解を深めていただく貴重な機会となりました。

■ これからの取り組み

豊かな地球環境を次世代に引き継ぐため、従業員一人ひとりがデンカポリマーの企業理念を共有した上で、安全・安心への取り組みと環境保全と省エネ活動を通じ、持続可能な社会を目指した経営を推進していくことが、大切な責務と考えています。



展示品

(左)佐倉市市長 (右)生産本部長

■ デンカ生研株式会社



事業所概要

- 工場概要** デンカ生研は、ワクチンと検査試薬の供給を通じて、人々の生命と健康を守ることを使命として企業活動を行っています。創業以来「予防」をキーワードに、感染症や生活習慣病の撲滅に向けた取り組みを続けています。
- 主要製品** インフルエンザワクチン、細菌検査試薬、ウイルス検査試薬、臨床化学検査試薬、免疫血清検査試薬、POCT製品
- 所在地** 本社：東京都中央区日本橋室町2-1-1 Tel.03-6214-3231
工場：新潟県五泉市(新潟工場、鏡田工場)
- 従業員数** 694名(2016年3月31日現在)

トップメッセージ



代表取締役社長
前田 哲郎

ワクチンと検査試薬という人々の健康を守る製品を製造する企業として、利便性の高い高品質な製品を安定的に供給することが当社の最大の社会的使命です。医薬品メーカーとしての重責を念頭に、これからの世界で必要とされる製品の開発・製造を通して、感染症や各種疾病の脅威に挑んでいきたいと考えています。

CSR方針

「いのちを尊び、人々の健康を守ることを使命として、社会から信用される企業を目指す」という企業理念に基づき、安全でより優れた製品の提供に努めてまいります。また安全衛生・環境保全に配慮し、地域との共生・健康増進への貢献などに積極的に取り組んでまいります。

■ CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

防災訓練



安全で快適な職場づくりに向けて、全員で職場のリスク低減に取り組む安全活動を展開中です。定期防災訓練により、緊急時に確実な対応が取れるよう日々から備えています。

地域清掃活動



周辺地域への騒音や臭気等の環境影響に最大限の注意を払うとともに、周辺住民の皆様とのコミュニケーションや地域清掃活動を通して、社会から信頼される企業を目指しています。

■ これからの取り組み

健康を支える企業として、地元で開催されるスポーツイベントを積極的に支援してまいります。女子バスケットボール・トップリーグの「新潟アルビレックスBBラビッツ」に所属する選手2名の契約スポンサーとしてその活動を支援しています。五泉市内で開催されるBBラビッツ公式戦、「ごせん紅葉マラソン」のメインスポンサーとしても、地域との交流を図っています。



新潟アルビレックスBBラビッツの選手を囲んで

シー・アール・ケイ株式会社



事業所概要

- 工場概要** 当社は1963年に、クロロプレンゴムを原料とするコンパウンドおよび成形品の開発・製造・販売を目的として、デンカと高崎市の地元資本が共同出資して設立されました。長年の研鑽と熟練技術を基盤として、土木・建材用止水材・耐火材などに対象分野を広げ、現在は天然ゴムや合成ゴム全般のコンパウンドと加工製品の製造販売を行っています。
- 主要製品** 各種ゴムコンパウンド、工業用ゴム製品、熱膨張性耐火ゴム製品、プチル系粘着テープ、水膨張止水テープ、マンホール用耐震性ジョイント
- 所在地** 群馬県高崎市小八木町306 Tel.027-362-7510
- 従業員数** 62名(2016年3月31日現在)



代表取締役社長
長坂 英昭

トップメッセージ

社是である「1.社業を通じて社会に貢献しよう。1.人格、社格の向上に努めよう。1.明るい活力ある会社作りに努めよう。」の3点を肝に銘じ、ゴム製品の加工・製造、開発、営業を通じて実践しながら、各関係先に信頼される会社を目指していきます。

CSR方針

安全最優先のもと、保安の確保、環境への配慮、品質の維持・向上、安定した生産を継続する。お客様と地域社会との共生を図るべく、製造・開発・営業・各部門の業務を遂行していく。

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

職場会議



- ・2015年末に中小企業無災害記録で2,250日を達成し、群馬労働基準協会連合会から銀賞を受賞しました。
- ・朝礼において毎月設定するテーマに基づく安全一言講話を行い、安全意識の向上に努めています。
- ・月一回各職場で実施している職場会議では、5S活動の進捗状況やヒヤリハット発生原因を話し合い、改善提案に結び付けています。

植栽



- ・工場内に多数あった照度が不十分な場所について、計画的に改善を進め対応を完了しました。
- ・5S活動の一環として、建屋の壁や床の塗装および屋外の植栽を行いました。また、毎月全員で屋外清掃を実施して構内美化に努めています。

ドラムラック塗装



ソフトボール大会



地域においては、工業団地内のボーリング大会、デンカ渋川工場とのソフトボール大会に参加しました。社内ではバーベキュー、ゴルフコンペ、納涼会等を開催して従業員同士の懇親を深めました。

これからの取り組み

マネジメントシステムとしては、品質に関するISO9001を取得済みで、今年度はデンカの支援を受けながら2015年度版への改定準備を進め、来年度に更新審査を受ける計画です。また、未取得の環境マネジメントシステムについても、今年度は取得に向けた計画を策定します。



シー・アール・ケイ社員一同

日之出化学工業株式会社



事業所概要

- 工場概要** 当社は1949年に設立され、翌1950年に世界に先駆けて開発した磷酸質肥料「ようりん」の生産を開始しました。以来日本のトップメーカーとして、品質の向上と新品種の開発、需要開拓に努め、豊かな土づくりを通して農作物の増産に貢献しています。
- 主要製品** 熔成^{ようせいりんび}磷肥「ようりん」、BM^{ようせいりんび}ようりん、熔成^{ようせいりんび}珪酸磷肥「とれ太郎®」、混合肥料、化成肥料
- 所在地** 京都府舞鶴市宇倉谷660 Tel.0773-75-5760
- 従業員数** 40名(2016年3月31日現在)



代表取締役社長
高木 静雄

トップメッセージ

当社は、日本最初の熔成磷肥「ようりん」メーカーとして創業し、今年で67年目を迎えます。土づくり肥料として親しまれる「ようりん」は、現在使用されている磷酸質肥料の中で唯一、当社品が有機農産物適合資材として認定を受け、安全で環境にやさしい肥料としての評価を得ています。今後も伝統ある技術を活かした新製品開発を通じて市場のニーズに応えとともに、未来の世代へ技術を継承してまいります。

CSR方針

- 《基本方針》肥料の製造を通じて社会に貢献し、従業員の自己実現を目指す
- 《環境方針》環境マネジメント活動(KESステップ2)を推進して、地球環境との調和を目指す
- 《安全方針》自分と仲間の安全を確保して考動!
- 《品質方針》ワンパス収率を意識して工程管理を強化する

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全教育(殉職者慰霊の日)



日々の事前KYミーティングと危険リスクの抽出、改善に注力しています。作業者を交えて現地で問題点を話し合うプロジェクト改善活動は、3年目に入りました。

近隣地域での清掃活動



環境マネジメントシステム活動(KES*ステップ2)を主体に、排水系と排ガス系の更なる技術改善に取り組んでいます。前者は中和技術の改善と基準化で一歩前進できました。また工場近隣の清掃活動も継続しています。

*KES:京都議定書の発祥地である京都が発信する「環境マネジメントシステム」規格。ステップ2は規模の比較的大きな事業所が取り組む規格で、ISO14001とほぼ同じ項目を実施するものです。

これからの取り組み

コミュニケーションの向上を意識して会話の充実に努めています。また、将来につながる工場運営を目指して、中長期的な視点に立って現状の活動に+αする老朽化対応と軽労化対策を推進します。



日之出化学工業社員一同

デンカアヅミン株式会社



事業所概要

- 工場概要** 当社は日本重化学工業の花巻工場として1962年に設立され、翌年よりアヅミンの生産・販売を開始いたしました。2003年の日本重化学工業から電気化学工業への事業譲渡に伴い、腐植酸関連肥料の生産を目的とした「デンカアヅミン株式会社」となりました。今後も、腐植酸肥料のパイオニアとして、農業生産に貢献してまいります。
- 主要製品** 「アヅミン®」(腐植酸苦土肥料)
- 所在地** 岩手県花巻市二枚橋第5地割118 Tel.0198-26-2131
- 従業員数** 27名(2016年3月31日現在)



代表取締役社長
中村 守

トップメッセージ

当社は土壌改良資材「アヅミン®」を53年にわたって製造しています。硝酸、重油等の危険物を取り扱うため、安全な生産活動の推進には日常のKYT(危険予知訓練)に重要なポイントをおいています。職場の従業員の構成が、本年度より大きく若返りますので、若手社員の安全教育を徹底する中、無事故・無災害継続に向けて精進してまいりたいと考えています。

CSR方針

- 無事故・無災害の継続(当面の目標:1,000日)
- 環境保全管理の遂行
- 地域住民及び行政との信頼関係の醸成

CSR方針に沿った主な活動実績(2015年度)

安全大会



外部講師から安全講習を受講
(2015年10月2日)



花巻消防署との合同訓練
(2015年10月2日)

リスクアセスメント講習



実習の様子
(2016年2月1日~2日)

- ・毎月開催するGCP推進会議にて、各小委員会(KY・ヒヤリハット、安全パトロール、省エネ、物流)から報告を受け、危険箇所には対策立案を行ってきました。
- ・年2回の安全大会では、職制による講話のほか、テーマを決めて意識向上、訓練に取り組みました。
- ・デンカ本社、千葉工場/環境保安部から講師を招請し、協力会社を含めた従業員にリスクアセスメント講習を実施しました。
- ・無災害継続目標を1,500日とし推進してまいりましたが、残念ながら昨年7月6日に休業災害が発生させてしまいました。対策後改めて目標を1,000日とし推進中です。

環境

- ・花巻市と締結している公害防止協定に基づき、大気、水質、騒音、振動を測定し、基準内であることを報告しました。

コミュニケーション

- ・地域住民との関係では、地元「二枚橋地区公害対策協議会」による工場視察を年2回受け入れ、及び総会や懇親会へ出席しました。引き続き良好なコミュニケーションの形成に努めてまいります。
- ・地元の高校2校から延べ8名の生徒のインターンシップを受け入れました。
- ・花巻市が主催する「花巻産業博覧会」に出展しました。これが縁となり、市の広報「はなまき」に弊社製品「アヅミン」が紹介され、市内全戸に配布されました。



二枚橋地区公害対策協議会メンバーの工場視察
(2015年11月24日)



広報はなまき掲載記事
(2015年12月15日号)

これからの取り組み

生産職場の若返りが進む中、若手社員の安全行動の意識付け、習慣化が重要と考えています。リスクアセスメント手法も活用し、積極的に危険性の低減を図っていきます。

- 「硝酸」の安全な取り扱いの教育と、漏洩事故防止対策を進めます。万が一の事故発生に備え、安全確保と工場外への環境影響を最小限に止めるための、地元消防署当局と連携した合同訓練等の対策を継続する予定です。
- 製造工程で発生するNOxの削減対策について、引き続き調査を進めてまいります。
- 3年間継続して開催された「花巻企業博覧会」が今年度は中止されるため、地元商工会議所会員及び工業クラブ会員、また近隣住民の方々に対して、アヅミン肥料への理解を得るべく広報企画を進めてまいります。

環境パフォーマンス

青海工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	90年度比	0.94	0.90	0.91	0.90	0.90
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	83	84	85	78	85
PRTR法対象物質排出量	トン	18	14	14	14	14
NOx排出量	トン	2,935	3,394	3,209	3,280	3,564
SOx排出量	トン	81	61	45	42	47
ばいじん排出量	トン	86	67	65	81	72
水利用量	千m ³	64,004	63,084	62,925	58,915	58,915
COD(BOD)排出量	トン	847	850	743	561	561
産業廃棄物発生量	トン	109,866	101,260	93,768	94,004	108,055
廃棄物最終処分量	トン	100	69	60	50	45

*NOxは、15年度比、セメント生産増を見込み、中計(3,150t)から実行目標へ

大牟田工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	90年度比	0.94	0.94	0.88	0.86	0.87
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	13	13	16	14	14
PRTR法対象物質排出量	トン	7	7	9	8	7
NOx排出量	トン	846	788	786	603	786
SOx排出量	トン	1	1	1	1	1
ばいじん排出量	トン	4	6	6	5	5
水利用量	千m ³	1,215	1,190	1,205	1,177	1,177
COD(BOD)排出量	トン	1	1	2	1	5
産業廃棄物発生量	トン	7,408	8,680	12,903	13,470	8,457
廃棄物最終処分量	トン	22	72	25	17	17

*中計

千葉工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	90年度比	0.96	0.91	0.86	0.81	0.72
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	34	33	27	25	23
PRTR法対象物質排出量	トン	73	66	51	49	46
NOx排出量	トン	256	263	245	252	156
SOx排出量	トン	33	20	16	8	7
ばいじん排出量	トン	3	1	1	1	1
水利用量	千m ³	4,113	3,970	3,457	3,908	4,080
COD(BOD)排出量	トン	13	10	12	13	12
産業廃棄物発生量	トン	14,283	12,856	11,719	11,960	9,696
廃棄物最終処分量	トン	39	52	55	71	77

*中計

渋川工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	90年度比	0.78	0.83	0.84	0.86	0.66
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9
PRTR法対象物質排出量	トン	4	3	4	4	6
NOx排出量	トン	5	11	11	11	12
SOx排出量	トン	1	2	3	4	5
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	2,458	2,399	2,294	2,089	2,240
COD(BOD)排出量	トン	3	4	3	3	3
産業廃棄物発生量	トン	369	382	384	442	508
廃棄物最終処分量	トン	1	1	2	1	2

*中計

環境パフォーマンス

大船工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	02年度比	0.77	0.78	0.72	0.67	0.65
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1	0.7	0.8	0.8	0.9
PRTR法対象物質排出量	トン	1	1	1	1	1
NOx排出量	トン	2	2	1	2	1
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	51	46	42	59	59
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	107	167	137	147	139
廃棄物最終処分量	トン	18	16	14	14	10

*中計

伊勢崎工場

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	05年度比	0.98	1.02	1.00	0.96	1.00
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	2.1	1.7	2.2	2.1	2.4
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	440	427	433	385	410
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	179	145	171	155	160
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

*中計

デンカイノベーションセンター

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
PRTR法対象物質排出量	—	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m ³	8	8	7	6	7
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	117	101	118	108	115
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

*中計

メルバウ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
給水量	千m ³	44	58	46	47	50
COD(BOD)排出量	トン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物発生量	トン	332	336	315	361	317
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

セラヤ工場(デンカシンガポール プライベートリミテッド)

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	3.4	3.0	3.3	3.6	3.6
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	4.6	4.6	4.6	4.9	5.0
SOx排出量	トン	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
給水量	千m ³	193	138	174	217	220
COD(BOD)排出量	トン	3.2	3.2	3.5	3.7	3.5
産業廃棄物発生量	トン	1,948	1,773	1,445	1,588	1,700
廃棄物最終処分量	トン	0	6	13	12	20

トラス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	2.6	2.5	2.0	1.7	2.3
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	322	501	590	530	650
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
給水量	千m ³	99	97	83	73	94
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	348	381	306	199	266
廃棄物最終処分量	トン	348	381	306	199	266

サウス工場(デンカアドバンテック プライベートリミテッド)

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	0.2	0.4	0.4	0.5
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	0.6	1.4	1.5	1.5
SOx排出量	トン	—	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	0	0.1	0.1	0.1
給水量	千m ³	—	5	10	18	18
COD(BOD)排出量	トン	—	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	140	288	276	340
廃棄物最終処分量	トン	—	11	21	19	23

電化精細材料(蘇州)有限公司

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	0.05	0.08	0.10	0.10
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	0	0	0	0
給水量	千m ³	1.8	1.8	1.8	2.0	2.0
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0.5	0.5
産業廃棄物発生量	トン	0	0	0.2	0.2	2.4
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0.1

環境パフォーマンス

電化新材料開発(蘇州)有限公司

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
給水量	千m ³	0.3	0.9	0.4	0.5	0.5
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	9	20	23	12	22
廃棄物最終処分量	トン	0	0.03	0	0	0.05

電化無機材料(天津)有限公司

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	—	0.01	0.01	0.01
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	—	0.1	0	0
SOx排出量	トン	—	—	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	—	0	0	0.1
給水量	千m ³	—	—	0.4	0.7	0.7
COD(BOD)排出量	トン	—	—	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	—	8	42	10
廃棄物最終処分量	トン	—	—	8	42	10

電化電子材料(大連)有限公司

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	—	—	0.04	0.06
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	—	—	0	0
SOx排出量	トン	—	—	—	0	0
ばいじん排出量	トン	—	—	—	0	0
給水量	千m ³	—	—	—	0.1	0.3
COD(BOD)排出量	トン	—	—	—	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	—	—	0.8	2
廃棄物最終処分量	トン	—	—	—	0.04	0.1

デンカポリマー株式会社

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1.2	1.2	1.3	1.2	1.2
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
給水量	千m ³	—	10	30	28	28
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	103	113	146	139	138
廃棄物最終処分量	トン	0	0	0	0	0

デンカ生研株式会社

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	4	3	4	4	4
SOx排出量	トン	2	3	2	1	2
ばいじん排出量	トン	—	0	0	0	0
給水量	千m ³	674	440	702	269	280
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	337	275	935	967	970
廃棄物最終処分量	トン	41	42	48	70	50

シー・アール・ケイ株式会社

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	—	0	0	0	0
給水量	千m ³	74	75	74	74	74
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	75	84	80	60	65
廃棄物最終処分量	トン	34	37	30	19	22

日之出化学工業株式会社

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	2.3	2.4	2.2	2.0	1.9
PRTR法対象物質排出量	トン	3.4	5.0	4.2	2.6	2.5
NOx排出量	トン	177	190	208	141	130
SOx排出量	トン	173	118	101	74	90
ばいじん排出量	トン	—	10	7	6	6
給水量	千m ³	1,571	1,878	1,333	1,330	1,327
COD(BOD)排出量	トン	2	2	2	3	2
産業廃棄物発生量	トン	103	244	54	38	38
廃棄物最終処分量	トン	38	184	4	3	4

デンカアヅミン株式会社

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	27	29	26	21	21
SOx排出量	トン	1	2	1	1	1
ばいじん排出量	トン	4	5	4	3	4
給水量	千m ³	596	596	603	602	627
COD(BOD)排出量	トン	2	4	2	2	2
産業廃棄物発生量	トン	84	52	49	54	54
廃棄物最終処分量	トン	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

■ 環境パフォーマンス

デンカアドバンスマテリアルズ ベトナム カンパニーリミテッド

項目	単位	2012年度	13年度	14年度	15年度	16年度(目標)
エネルギー原単位	—	—	—	—	—	—
CO ₂ 排出量(エネルギー起源)	万トン	—	—	—	0.11	0.19
PRTR法対象物質排出量	—	—	—	—	—	—
NOx排出量	トン	—	—	—	0	0
SOx排出量	トン	—	—	—	0	0
ばいじん排出量	トン	—	—	—	0	0
給水量	千m ³	—	—	—	11	25
COD(BOD)排出量	トン	—	—	—	0	0
産業廃棄物発生量	トン	—	—	—	110	250
廃棄物最終処分量	トン	—	—	—	15	5